



○このきれいを

維持するために

ポイ捨てゴミがなくなり、きれいになりました。しかし、やがてゴミが増え、一ヶ月もすれば目にあまる状態になります。これ

まで、何度も繰り返されてきました。

しかし、地域の方々は自分たちのゴミで

なくとも、自分たちの

生活する地域をきれ

いにしたいという一

念で、ゴミを拾い続け

てこられました。何とかできないものか。

できることはやろう。参加された方々

の心底にある思いです。

○拾う姿を示し続けるには

ポイ捨てされたゴミは、早く片付けよう。ポイ捨てしない心を広めよう。そんな思いをポイ捨てゴミを拾う姿で

アピールするには、できるだけ拾う姿が

目につくようにすることです。一人では

できない。一人でも多くの人が少しづ

つエリアを決めて、拾うことだと取り組

まれている方もあります。地域で行う行

事の時に、みんなでちよつとずつ拾おう

という取り組みもあります。

○ポイ捨てゴミ処理は？

拾ったゴミの処理も課題です。最も

いい方法は、分別することです。今回

も、ポイ

捨てゴミ

の七割は

燃えるゴ

ミです。それ以外はペットボトル、ビ

ン、缶、不燃ごみに分けました。不燃

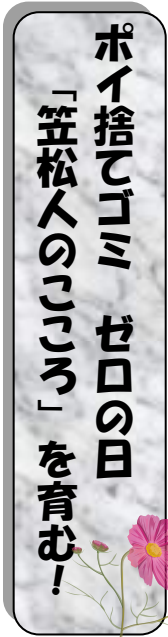
ごみは約二袋を残して、すべて分別し

ました。缶、ビン、ペットボトルは汚

れているので、水洗いが必要です。水

道代もかかります。そのまま不燃ごみ

として処理した方がよいのではという



考えもあります。

○ゴミを拾い 「笠松人の心」を育む！

きれいな地域で生活したい。そのために、自分たちの出したゴミでなくとも拾って始末する。この姿勢は、「道徳のまち笠松」で大切にしている「笠松人の心」そのものです。取り組み方を工夫し継続することが、笠松の風土づくり・人づくりにつながります。



ポイ捨てゴミゼロの取り組み (堤防道路に沿って)